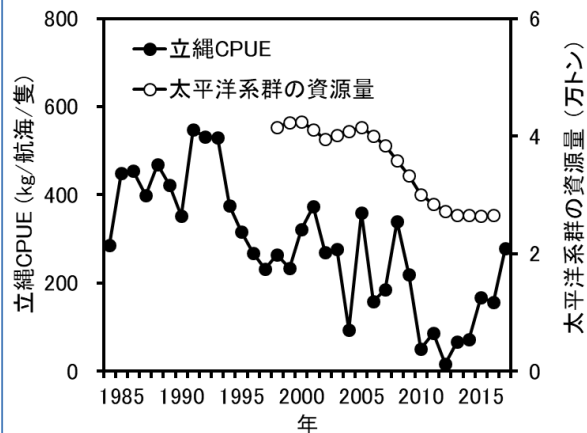


資源の動向 「中位・増加」



立縄CPUE (kg/航海/隻)と太平洋系群の資源量の推移

キンメダイ太平洋系群の資源量は2005年を境に大きく減少しており、平成29年度の国の資源評価では、資源水準は「低位」、動向は「減少」と判断されている。

主に東京湾口から伊豆諸島北部海域で操業する本県立縄漁船のCPUE(1隻1航海当たりの漁獲量)は、1980年代から90年代前半にかけて高い水準であったが、1993年を境に急減し、2012年に最低値を記録した。その後、2015年に小型魚の高い加入(=卓越年級)がみられたことにより、近年は増加に転じている。

一方で、キンメダイの資源量は数年に一度発生する卓越年級群によって支えられており、小型魚のうちに獲り切ってしまうよう注意が必要である。

対象漁業

- 底立延縄
- 立縄(一本釣)



生物学的特性

- 分布:世界の熱・温帯域に広く分布する
日本近海では房総半島から伊豆半島沿岸、伊豆諸島周辺、四国沖、南西諸島周辺に多くみられる
- 移動:大陸棚斜面や海山に着底し、成長に伴い沖合の深場へ移動
- 成長:尾叉長は5歳で30cm前後、10歳で38cm前後(寿命は26歳以上)
- 産卵期等:6~10月(盛期は7~8月)

